

SHIRAKOBATO

しらこぼと



1991. 4

SOCIETY OF JAPAN · SAITAMA

WILD BIRD



NO. 83

日本野鳥の会 埼玉県支部

ひまなら 差 間

「差間」の探鳥会を担当して1年少し。年間1回だった探鳥会も四季を通して3回程度行えるようになり、差間の鳥、自然をみなさんに楽しんでもらえる回数が増えたことをうれしく思っています。差間とは川口市の北の端にあり、見沼田圃の最南端、44万都市川口市の中にあっては、もう、唯一とっていいほどまとまった自然が残っている場所です。

鳥仲間ではこのあたり一帯を「差間」と呼んでいるので、これからも川口市差間探鳥会ということでよろしくお願い致します。

通船堀あたり

それでは探鳥会コースに沿って、近頃の差間を紹介します。交通はJR武蔵野線東浦和駅下車。ほんの5年程前にまで駅の回りには、植木畑が広がっていましたが、区画整理の進行に伴い、急速に都市化が進んでいます。その整備された駅前広場には、ふるさと歩道案内板があり、見沼田圃を紹介しています。広場からスーパーマーケットの脇を通り、高校グラウンドの方向に坂を下ると見沼代用水西縁に出ます。このまま西縁沿いを歩いて芝川に出るコースも楽しいですが、ここはオーソドックスに見沼通船堀方向に歩くことにしましょう。

探鳥コースは通船堀入口が起点となります。堀沿いは桜並木になっていて、花の季節には満開の桜の下での探鳥会を予定しています。

堀をのぞきこむと、セグロセキレイ、ハクセキレイがさかんに採餌しています。キセキレイも秋から春にかけてよく見られます。時々、コサギ、カルガモが羽を休めているので、驚かさないようにそっと観察しましょう。しばらく姿が見られなかったカワセミが一時もどってきたのですが、最近また見られなくなったのは残念です。

民家の庭先にはジョウビタキ、モズが見られ、藪の中からアオジ、ウグイスが桜の木々に飛び出してきました。シメ、カケス、ツグミも冬の常連。一年を通じ、この付近が探鳥コースの中で一番鳥が多いところ

です。

この通船堀で去年の秋に「秋の夜長を鳴き

通す」虫の観察会を数人の仲間と開いたことがあります。鳴く虫で知っていたのはコオロギくらいで、全く知識のなかった私ですがこれも始めてみるとなかなか楽しいものです。鳴く虫の女王と呼ばれているカンタンという虫の鳴き声が印象に残っています。虫たちの大演奏会もまだここではじゅうぶん楽しめますよ。防虫対策をしっかりとって来て下さい。

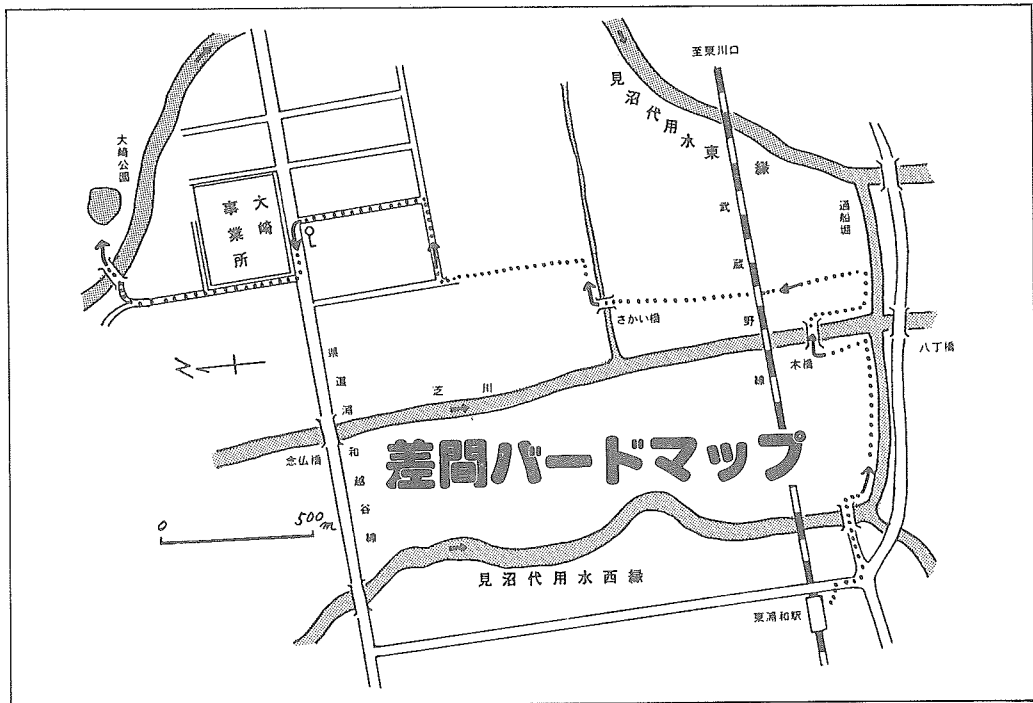
通船堀をぬけると芝川に出ます。秋にはムクドリの子が電線に止まり、その中からコムドリも見つかります。芝川上空には下流からカワウ、ユリカモメ、セグロカモメが飛来し、まれにウミネコも見られることがあります。この右手に八丁橋があり、その下流にはカモ類もいますが、この道路は最近交通量が増え、横断には危険。ここでの観察はあきらめ芝川を上流に向います。

木橋からさかい橋

桜の木の下を過ぎると田園風景が広がり、右手には木橋が見えてきます。

木橋付近で秋、稲の刈られた田んぼにはノビタキが数羽、旅の途中で羽を休めています。青く澄んだ秋の空にはアマツバメとヒメアマツバメ、サシバも1羽、2羽南へ渡っていく姿が見られます。木橋を渡り、そのままヒガンバナ咲く芝川上流へ進みたいのですが、ここはシラコバトを見に、下流に戻ることになります。八丁橋手前の通船堀を左折すると、民家周辺でシラコバトを間近に見ることができるでしょう。

左へまっすぐのびた道を進むと、トネリコ



の並木が北へのびています。右手には見沼代用水東縁に沿った斜面林が見えてきます。差間の斜面林は高層マンションができたり、住宅が間近までせまり、次々と切り開かれていくのはとても残念でなりません。上空を施回するオオタカも、とても寂しそう。

武蔵野線のガードをくぐると、都市近郊とは思えないひなびた風景が広がり、心をなごませてくれるでしょう。アマサギ、チュウサギの群れが餌をついばんでいます。

トネリコの並木が終わるとさかい橋。ここはこの探鳥コースのポイント地点。春から夏にかけて左に見える高圧線にカッコウが独特のポーズで鳴く姿が見られます。このカッコウはどの鳥の巣に托卵するのだろうか。いろんなことを考えながら上空を見上げると、大崎事業所で繁殖するイワツバメが舞っています。

秋、橋周辺のクヌギの木にツツドリが数羽集まります。間近で胸の模様までしっかりと観察できるでしょう。冬はコミミズクが越冬し、夕やみせまるアシ原をフワリフワリ飛んでいる姿が見られることでしょう。もしここでふられたら、橋を渡り、対岸のアシ原に行ってみましょう。

ここではカワセミがよく見られるそうです

が、私はまだ一度もお目にかかれませんが、このカワセミとは相性が悪いんですね。

大崎事業所まで

橋を渡り右折し、道なりに左へ進むと右手は見沼代用水東縁まで続くアシ原。夏、オオヨシキリがさかんに鳴きます。コヨシキリも数は少ないですが見ることも可能です。ヨシゴイも根気よくさがせば低く飛んでいる姿が見られるでしょう。

アシ原を抜け、舗装道路を右折すると大崎事業所の煙突が見えてきます。植木畑を左右に見て県道浦和越谷線の横断歩道を渡ると、事業所の裏は探鳥会終点の大崎公園です。公園の子供動物園の池はカモの観察の穴場。飼育されているアカハシハジロ、アカツクシガモなどに混じって野生のカモも飛来し、オナガガモなど7種程見られます。動物園の開園は午前10時。カモたちを間近で見てみてください。

東浦和駅から大崎公園まで約2時間半のコース。都市近郊の身近な自然、どうか一度と

いわず二度、三度は是非歩いてみて下さい。

探鳥会にも来てください。よろしく。

(手塚正義)

1991年ガン・カモ・ハクチョウ類調査報告

日本野鳥の会 埼玉県支部研究部

調査に参加いただいた皆様、ありがとうございました。
(執筆 小荷田行男)

表2 ガン・カモ科の集計数の推移

(1990年の調査地で集計)

調査年	県内集計数	渡良瀬川遊水池貯水池
1982	22,300	—
1983	25,300	—
1984	—	—
1985	25,500	—
1986	22,700	—
1987	24,900	—
1988	18,900	—
1989	17,900	10,900
1990	18,800	6,100
1991	12,200	5,900

1月15日、全国一斉ガン・カモ・ハクチョウ類調査が実施されました。当日は移動性高気圧が本州に張り出し快晴又は晴れの風のおだやかな1日でした。今年は昨年と同じく狭山湖と昭和池については会員の方々の参加をいただき、他地区はそれぞれ調査員をお願いし県内で17ヶ所、53名の方の御協力を得ました。

調査地毎の1991年カウント結果と1982年からの合計値の推移(表1)及び1982年からの県内集計数の推移(表2)を示します。1989年新たに完成した渡良瀬川遊水池貯水池を除いた1990年調査地を対象とした集計値(表2)は1985年をピークに減少し1991年は1985年の半分以下となっています。

表1 1991年ガン・カモ科のカウント調査結果と過去の合計数の推移

調査地	荒川						芝川	古利根川	利根川	渡良瀬川	狭山湖	小呼川 調整池	百穴湖	武蔵丘陵 森林公園	大沼公園	県立農林 公園	昭和池	白鷺沼	大宮公園
	豊本橋～ 新富士見 橋	荒川鉄橋 ～戸田橋	道湾(荒 川第一調 整池)	秋ヶ瀬橋 羽根倉橋	南郷橋水 鏡橋 びん沼川	荒川大橋 明戸せき	東北線～ 泉道・大 宮栗橋線	寿橋～ 笠面橋	飯東大橋 下流	遊水池 貯水池				山田大沼 など	大沼	芳沼	葛西公園		ボート池
地域	狭山市	川口市 戸田市	戸田市	鴻和市	大宮市 富士見市	江岸町 隠谷市	大宮市	越谷市 松伏町	本庄市	北川辺町	所沢市	川越市	吉見町	滑川町	江岸町	川本町	久喜市	鴻和市	大宮市
コハクチョウ																			
オシドリ														11					
マガモ	10		10	17	1	370	2	834	1,391	601		396	1,835	11	*	660			
カルガモ	87	33	86	6	17	19	21	556	792	144		1	816	141	*	1,314	7		
コガモ	299	22	161		1	285	62	553	422	372		11	109			782	8		
トモエガモ								1					3				64		
ヨシガモ							2	2											
オカヨシガモ			7					34	14				2	60					
ヒドリガモ	4	49	17				233	22	24								92		
アメリカヒドリ																	1		
オナガガモ	27	122	161			97	174	85	62			6	4	17	*	1,144	31	1	
ハシビロガモ	6		55	3	14	1	3	27	18			8			*	132	4		
ホシハシロ		1	426		76			2		9		57	6	1	100	50	1	134	
アカハシロ																			
キンクロハシロ			94	2	2				1	1		7				50		11	
ホオジロガモ			2						2	4									
ミコアイサ								1	14	1							1		
カワアイサ								19	3										
カモSP									3,136										
複類	6	5	10	4	6	5	—	7	12	12	7	—	7	8	5	5	11	5	3
合計	433	227	1,019	28	111	772	—	497	2,136	5,879	1,132	—	486	2,786	230	556	4,290	51	146
調査者数	1	3	2	2	1	2	—	1	2	3	12	—	2	5	2	2	15	1	1
1982年合計	—	1,831	—	724	—	408	199	362	—	4,709	—	445	7,897	—	—	—	5,672	13	—
1983年合計	—	2,223	—	770	—	339	—	470	—	6,449	78	168	8,323	—	—	—	6,310	22	134
1985年合計	—	903	—	—	—	133	—	—	6,284	4,017	—	—	6,065	—	—	—	7,940	134	—
1986年合計	—	955	—	1,317	—	37	—	—	1,763	—	2,955	—	2,131	—	—	—	6,262	—	—
1987年合計	—	741	—	500	—	24	—	729	3,210	—	3,170	—	2,048	—	—	—	7,630	—	—
1988年合計	—	712	—	543	—	457	—	718	3,483	—	1,692	—	963	—	—	—	7,055	—	—
1989年合計	589	467	—	625	—	162	—	469	3,148	—	664	—	627	—	—	—	7,823	—	—
1990年合計	332	930	—	305	—	—	279	638	1,400	6,110	1,071	702	1,453	4,900	—	—	5,495	234	158

第12回関東ブロック協議会開催

関東地区9支部の代表が集まって話し合いをする情報交換・交流の場である関東ブロック協議会が、埼玉県支部の担当で、2月23日(土)午後2時から、児玉郡神泉村の村営下久保コテージで開催された。

鈴木忠雄支部長の挨拶から始まり、各支部の実情報告の後、今回のメインテーマ・関東ブロックの今後のあり方についての討論が続いた。

さまざまな議論の結果として、従来の会議



を各支部の活動のためにも有益だったとプラスに評価し、今後の進むべき方向については、各支部持ち回りが一巡するまでは取りあえず従来の方法で進め、その間にさらに検討をくわえることで意見が一致して、松井昭吾副支部長の挨拶で閉会。関東ブロックの新たな段階にむけて大きなステップとなる会議だった。窓の外では、エナガが遊んでいた。

その後の懇親会でも話は尽きず、夜中過ぎまで議論の続いたグループもあったという。

翌日の早朝探鳥会、阪東大橋での支部探鳥会の視察など、日程は滞りなく終了し、各支部代表は帰路についた。

次回は本年9月ごろ、奥多摩支部の担当で開催される予定。

出席者は、本部の塚本洋三専務理事、他支部の代表15名、埼玉県支部からは、鈴木忠雄、松井昭吾、海老原美夫、榎本秀和、北川慎一、草間和子、楠見邦博、楠見文子、林滋、福井恒人、町田好一郎の11名、合計27名。

地鳴きコーナー

北秋津だより・その5(1月25日)

水本玲子(所沢市)

大寒を過ぎて冷たい風が吹く日が多くなりましたが、風のない穏やかな日はバードウォッチングと犬の散歩を兼ねてあちらこちら歩き回っています。

最近ツグミをよく見かけますが、近くで見ると意外に大きな鳥ですね。ネコのように背中を丸めて木にとまっている姿はなかなかかわいいです。

先日、朝日新聞に、新座市の大和田市民プールにカモが来ているという記事が載っていましたが、所沢市内の柳瀬川でもカモを見かけることがあります。私がいつも観察する西武鉄道グラウンド裏から西武池袋線のガードあたりにも、オナガガモが、つがいか親子で2~4羽、数は少ないですが、来ています。でも、川は泡立って流れているし、カモに気づいて足を止める人もないようです。「たかが

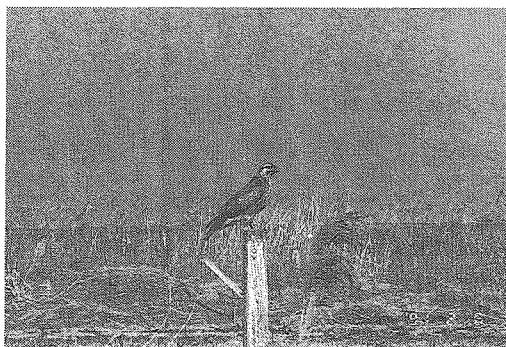
川!! されど柳瀬川」と書いた看板を見るたびに、自然保護というのは建前ではなく、本音でやるものだと思います。

「日本の野鳥」を広げて、さえずり、地鳴き、ぐぜりなどの言葉の意味を知ったり、今まで見分けられなかった鳥の名前が分かるようになったり、女38才にして日々是勉強という訳です。ではまた。



野鳥情報

- アオサギ** ◇2月4日、狭山市の智光山公園で1羽（西村光雄） ◇2月6日、幸手市上吉羽の中川で2羽（秋間利夫）。
- コハクチョウ** ◇2月12日午後5時20分、本庄市の阪東大橋下流で4羽。下流から飛来して流れに降りる（井上幹男）。
- カルガモ×マガモ** ◇1月16日、所沢市久米の松が丘遊水池で1羽（佐藤方博）。
- ヨシガモ** ◇2月4日、戸田市道満で♂1羽（小谷野勝栄）。
- ミコアイサ** ◇12月9日、所沢市久米の松が丘遊水池で♀1羽（佐藤方博）。
- オオタカ** ◇2月10日、戸田市道満で成鳥1羽。今年になってから貯水池工事が激化して、姿を見せていなかった（高橋達也）。
◇2月16日午前7時、本庄市の阪東大橋下流で成鳥、幼鳥各1羽。ペアでカモをおそう。昨日で鉄砲が終わったというのに、今日はオオタカのターゲット。カモ達もうかうかしてられない（町田好一郎）。
- ノスリ** ◇2月4日、戸田市道満で1羽（小谷野勝栄）。 ◇2月6日、羽生市の利根川河川敷で1羽。いつも白い棒杭にとまっています（柿沼洋子）。
- タゲリ** ◇2月3日、狭山市の入間川、広瀬橋付近で1羽。コガモの群れがいる中州に着地しようとしたところ、コガモ達はタカと間違えたのか一斉に飛び立った。タゲリもこれに驚いて、飛び去ってしまった。その後、コガモ達は「なんだ、おどかしやが



ノスリ（柿沼洋子）

- って」とタゲリ狂っていた？（三田長久）
◇2月3日、浦和市三室の芝川で1羽（星崎杉彦）。 ◇3月2日、幸手市上吉羽の中川で1羽（秋間利夫）。
- オジロトウネン** ◇2月25日、幸手市上吉羽の中川で3羽（秋間利夫）。
- セグロカモメ** ◇2月16日、狭山市の入間川、広瀬橋付近で1羽。下くちばしの赤斑の上部に大きな黒斑があった。（三田長久）。
◇2月25日、幸手市上吉羽の中川で2羽（秋間利夫）。
- オガワコマドリ** ◇2月12日午後0時45分～1時15分、本庄市の阪東大橋下流約1.3キロの河川敷横の池わきの草べりで♀1羽。十分に見せてもらった（井上幹男、小野沢満）。
- ヒレンジャク** ◇2月27日、新座市の平林寺で50羽（吉本富美子）。
- ジョウビタキ** ◇2月9日、川口市中青木の屋敷林で♂1羽。きれいな声でさえずる（手塚正儀）。
- ルリビタキ** ◇2月24日、深谷市の千元山公園の浅間神社境内で♂1羽。ミヤマホオジロ♀と共に（菱沼一充）。
- トラツグミ** ◇1月19日、寄居町の鐘撞堂山で1羽（田口浩司）。 ◇2月24日、深谷市の千元山公園で1羽。切り株の上でしばらく思案した後、枯れ葉をひっくり返し始めた。なぜか、おなかの白さが印象的（菱沼一充）。
- アカハラ** ◇2月27日、戸田市道満の釣り堀横の林で1羽（高橋達也）。
- シロハラ** ◇2月25日、吹上町の自宅の庭で1羽。餌台下にあった、乾いたミカンの皮を盛んに食べる。街中のわが家に来てくれたのは初めてです（逸見 嶮）。
- ウグイス（初鳴き）** ◇1月31日、桶川市若宮の自宅裏の庭で「ケキョケキョ……」。まだ「ホー」という前奏なし。2月16日午前6時30分、「ホーホケキョ」とさえずる（立岩恒久）。 ◇3月6日、浦和市沼影で（海老原教子）。
- キクイタダキ** ◇2月14日、深谷市の千元山公園で2羽。シジウカラ、コゲラ、メジ

ロとの混群（菱沼一充）。

エナガ ◇1月20日、滑川町の森林公園で2羽。顔中をクモの糸だらけにして巣材集め（藤原寛治）。

メジロ ◇1月～2月、桶川市若宮の団地の庭に毎朝きまって5～10羽来てくれます。（立岩恒久）。

ミヤマホオジロ ◇2月3日、北本市石戸宿の斜面林で4羽。頭の黄色がよく見えた（立岩恒久）。2月17日、深谷市の千元山公園で♂♀各1羽。2月24日、同所で♀4羽（菱沼一充）。

アトリ ◇2月27日、長瀨町自然史博物館脇の森で約12羽（山口輝雄）。

マヒワ ◇2月4日、寄居町の鐘撞堂山で約50羽。おおまわな行動は群れ単位で行っているが、その群れの中において、特定の♂が♀を追いまわし、他の個体とは離れて木にとまるような行動をとっていた（田口浩司）。

ウソ ◇2月27日、長瀨町の宝登山神社駐車場で17羽。桜の木の芽を食べていた。またその群れ中にアカウソを2羽確認する（山口輝雄）。

ナベコウの観察記録

日本野鳥の会埼玉県支部 野鳥記録委員会

1991年2月末日までに当委員会に寄せられた情報は次のとおり。

1990年10月28日（日）午後1時30分ころ、川越市小ヶ谷地区川越橋近くの入間川。写真なし。（石井幸男、岡安征他、金井祐二、佐久間博文、内藤義雄、中村治、乗田実、長谷部謙二、増尾隆、三田長久夫妻、吉田喜代実）

11月3日（土）午後2時15分ころ、川越市鯨井地区平塚橋近く。写真あり。（長谷部謙二）

11月5日（月）午後2時40分ころ、川越市鯨井地区。写真なし。（吉田博）

11月18日（日）午前10時45分ころ、午後1時20分ころ、午後3時40分ころの3回、本庄市利根川阪東大橋下流1km地点。写真あり。（町田好一郎）

11月23日（金）午後2時20分ころから約10分間、同所。写真なし。（石井幸男、榎本秀和、岡安征也、内藤義雄）

11月23日（金）午後3時30分ころと午後4時20分ころ、同所。（町田好一郎）

11月24日（土）午前8時20分ころ、午前9時15分ころ、午前9時30分ころ、同所。（町田好一郎）

11月27日（火）午前11時ころ、同所。写真あり。（土橋信夫）

12月1日（土）午前6時50分、同所。（町田好一郎）

ナベコウは過去に、昭和51年4月埼玉県発行の『埼玉の鳥とけものたち』によれば文献記録があるとのことであるが、時期・場所等不明。写真撮影された観察としては県内初記録である。



撮影・土橋信夫

表紙の写真

1991 ネイチャーフォトコンテスト 入選作

コサギ（サギ科）

陽が西に傾き、川面がファンタジックに輝き始めました。いつものようにコサギのダンスが始まります。

右に左に、あざやかなターンを繰り返します。

高速シャッターを使って、シルエットで写し止めてみました。

平成2年5月21日 利根川 ペンタックス
SFXN 500mm×1.4 1/2000秒 F11 フジック
ルーム 1000 (町田好一郎・本庄市)

行事あんない



熊谷市・大麻生定例探鳥会

期日：4月14日(日)

集合：午前9時20分 秩父鉄道大麻生駅前

交通：秩父鉄道熊谷9:00発または寄居8:52発に乗車

担当：諏訪隆久、岡安征也、林滋、町田好一郎、逸見嶮、関口善孝、諏訪夕香子、田口浩司、宮坂亨

見どころ：帰ってきた夏鳥たち。菜の花のじゅうたんの上をツバメやイツバメが飛び交います。荒川では、川面を軽やかに舞い飛ぶコアジサシの姿が、見られるかもしれません。

浦和市・三室地区定例探鳥会

期日：4月21日(日)

集合：午前8時15分 京浜東北線北浦和駅東口(集合後、バスで現地へ)または、

午前9時 浦和市立郷土博物館前

後援：浦和市立郷土博物館

担当：楠見邦博、福井恒人、渡辺周司、手塚正義、伊藤芳晴、笠原伸子

見どころ：バトンタッチの季節。冬の間、すっかり顔なじみになったツグミ君やコガモ君は、北の国へ。別れを惜しむ間もなく、夏鳥たちが渡ってきて、結局、いつもにぎやかな三室です。

東京都・三宅島探鳥会(要予約)

期日：4月27日(土)夜~29日(月)夜

野鳥や自然の好きな方、どなたでも歓迎。

探鳥会への参加は、特別な場合を除いて予約申込みの必要はありません。受付は探鳥会当日です。参加費は一般100円、会員及び中学生以下50円。持ち物は、筆記用具、雨具、昼食、ゴミ袋、もしあれば双眼鏡など。小雨決行です。解散時刻は、特に記載のない場合、午後1時ごろになります。

◇フィールドマナー、いつも忘れないで◇

- ・鳥に近づきすぎたり、植物を採ったり荒らしたりしないように。細く長いおつきあいを。
- ・ゴミは、家まで持ち帰りましょう。

定員に達しましたので、締め切りました。ご応募ありがとうございました。

『しらこぼと』袋つめの会

とき：4月27日(土)午後1時~2時ごろ

会場：支部事務局(下の地図参照)

案内：野鳥の会の活動は、探鳥会だけではありません。ひと味ちがった、こんな集まりもあるんです。ちょっと気がむいたら、事務局をのぞいてみて下さい。

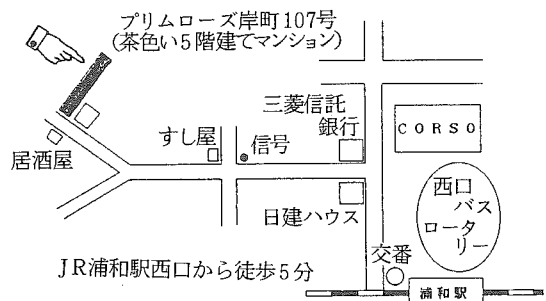
野鳥写真クラブ定例会

とき：4月27日(土)午後2時ごろ~5時

会場：『しらこぼと』袋つめの会と同じ

案内：スライドを見せて下さる方、大歓迎です。何も見せるものがない、という方も、笑顔を見せて下されば、これまた大歓迎です。

事務局はここです!



シギ・チドリ類県内一斉調査

期日：4月29日（月・祝）

日本野鳥の会埼玉県支部では、春と秋の2回、独自にシギ・チドリ類の県内一斉調査を行なっています。特に下記の地点では、より多くの会員のご協力をお願いします。

◇秋ヶ瀬（浦和市・大宮市）

集合：午前9時30分 大久保浄水場の北西角
近くの土手の上、水門のあたり。

担当：石井智、河辺達朗

解散は昼近くになる予定。雨天決行です。調査ですので参加費はいりません。いつものしたくでお気軽にどうぞ。

茨城県・菅生沼探鳥会

期日：5月3日（金・祝）

集合：午前8時45分 東武伊勢崎北越谷駅東口

交通：東武伊勢崎線新越谷 8:31 発または春日部 8:22 発に乗車。集合後、バスで現地へ。バス代は570円程。小銭をご用意ください。

解散：現地にて午後2時ごろ。

担当：中島康夫、松井昭吾、楠見邦博、草間和子

見どころ：新緑に映えるツルシギの夏羽。ムナグロが羽を休める水田を抜け、ウグイスのさえずりがひびき渡る森をめぐり、たどりついた沼には、ツルシギの群れ。

長野県・戸隠飯綱高原探鳥会（要予約）

期日：5月25日（土）早朝～26日（日）

集合：25日午前5時20分 JR長野駅改札口前

交通：25日午前0時26分発急行妙高に乗車、4時43分長野着。夜行が苦手な方は、長野駅前のホテルで前泊。

費用：10,000円の予定（1泊3食・現地バス代・参加費・保険料など。）他に、往復の交通費。

定員：40名（先着順、県支部会員優先）

申込み：往復葉書に住所、氏名、電話番号、年齢、性別を明記の上、北川慎一（〒

担当：北川（048— 夜間のみ）、

草間和子、黒田住子、榎本秀和

見どころ：夏鳥と過ごす2日間（I）キビタキ、コルリ、オオドリなど、夏鳥が勢ぞろい。アカショウビンも3年連続で見られています。夜のお楽しみは、名物手打そばの食べ放題に地酒。満足一杯の探鳥の旅。

栃木県・奥日光探鳥会（要予約）

期日：6月1日（土）～2日（日）

集合：午前7時45分 大宮駅東武線改札口
費用：12,000円の予定（宿泊費、往復交通費、保険料、参加費など）

定員：20名（先着順、県支部会員優先）

申込み：往復葉書に住所、氏名、電話番号、年齢、性別を明記の上、中島康夫（〒 3）まで

担当：中島、福井恒人、小林みどり、榎本秀和

見どころ：夏鳥と過ごす2日間（II）ミズナラの林で、花盛りのズミの森で、風そよぐ草原で、つまり、奥日光のいたるところで、夏鳥たちが声や姿の美しさを競いあっています。夜は、温泉でくつろいだら、みんなで鳥談義。

5月5日（日） 本庄市・阪東大橋

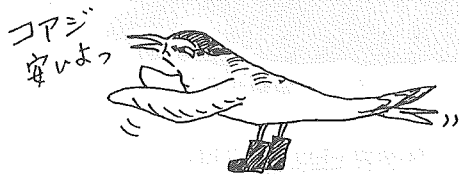
5月6日（月・振休） 千葉県・谷津干潟

5月11日（土） 栃木県・箒川

5月12日（日） バードウィーク探鳥会
大麻生、秋ヶ瀬、西川越、石戸宿

5月19日（日） 浦和市・三室地区

5月26日（日） 上尾市・丸山公園



（カット・押川歳子）

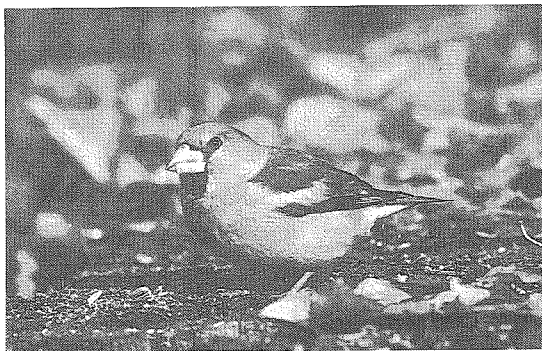
行事報告

1月20日(日) 浦和市 三室地区

人 55人 天気 晴 鳥 カイツブリ カワウ コサギ カルガモ コガモ オナガガモ ハシビロガモ オオタカ コジュケイ タゲリ タカブシギ イソシギ タシギ ハマシギ イカルチドリ コチドリ キジバト ヒバリ ハクセキレイ セグロセキレイ タヒバリ ヒヨドリ モズ ジョウビタキ ツグミ シジュウカラ メジロ ホオジロ カシラダカ アオジ カワラヒワ シメ スズメ ムクドリ カケス オナガ ハシボソガラス ハシブトガラス (38種) 年始めなので、おめでとう!今年も三室の自然を大切にと誓ったのでした。一般の参加者が多く今年も楽しみです。また、博物館の企画により、当支部が出版した写真展を開催中で、全員“鳥仲間”の写真を楽しみました。(楠見邦博)

1月26日(土) 写真クラブ定例会

集まった人 20人 作品発表した人 4人



シメ (登坂久雄・八王子市)

1月26日(土)『しらこぼと』袋づめの会

がんばってくれた人 伊藤芳晴、岩波勇一、海老原教子、角田真喜子、河辺達朗、楠見文子、佐久間博文、佐藤晶人、嶋田和江、墨江光子、中村治、藤野富代、吉田二三子、渡辺

敦、渡辺喜八郎、渡辺光行 (16人)

2月3日(日) 嵐山町 菅谷館跡

人 28人 天気 晴 鳥 コサギ コジュケイ イカルチドリ クサシギ イソシギ タシギ キジバト カワセミ コゲラ キセキレイ ハクセキレイ セグロセキレイ タヒバリ ヒヨドリ モズ ジョウビタキ シロハラ ツグミ ウグイス エナガ シジュウカラ メジロ ホオジロ カシラダカ ミヤマホオジロ アオジ カワラヒワ シメ スズメ ムクドリ オナガ ハシボソガラス ハシブトガラス (33種) 館跡を歩き始めてすぐに、シロハラが姿を見せてくれた。ミヤマホオジロ♀を見つけてくれた人も居たが、残念ながら全員は見られなかった。都幾川は、流れが大幅に変わってしまったが、カワセミはチラリと現われ、その他も、なんとか期待していた鳥を皆で見られた。(森本國夫)

2月10日(日) 熊谷市 大麻生

人 29人 天気 みぞれ後曇 鳥 カイツブリ コサギ アオサギ マガモ カルガモ コガモ オカヨシガモ オナガガモ ハシビロガモ キジ イカルチドリ ユリカモメ キジバト コゲラ ヒバリ ハクセキレイ セグロセキレイ タヒバリ ヒヨドリ モズ ジョウビタキ ツグミ ウグイス ヒガラ シジュウカラ ホオジロ カシラダカ アオジ カワラヒワ シメ スズメ ムクドリ カケス ハシボソガラス ハシブトガラス (35種) 集合時刻になると、いきなり雪が降ってきた。どうなることかと思いつながら探鳥会をスタートしたが、30分もすると雪は止んでくれた。野鳥の森では小鳥たちがぼくらを楽しませてくれたが、この日のハイライトは、大麻生探鳥会初記録のハシビロガモと、10数

羽もいたオカヨシガモだった。(諏訪隆久)

2月10日(日) 所沢市 狭山湖

人 24人 天気 曇 鳥 カイツブリ カン
ンムリカイツブリ カワウ ゴイサギ コサギ
マガモ カルガモ コガモ ヒドリガモ オ
ナガガモ ホシハジロ キンクロハジロ ホ
オジロガモ ミコアイサ カワアイサ オオ
タカ コジュケイ イカルチドリ キジバト
アオゲラ コゲラ ヒバリ ハクセキレイ
セグロセキレイ タヒバリ ヒヨドリ ルリ
ビタキ ジョウビタキ シロハラ ツグミ
ウグイス シジュウカラ メジロ ホオジロ
カシラダカ アオジ カワラヒワ シメ ス
ズメ ムクドリ オナガ ハシボソガラス
ハシブトガラス(43種)「バードウォッチン
グ入門」のビデオ取材チームと、本部の飯塚、
築田の両氏が参加した。(福井恒人)

2月11日(月、休) 長瀨町 長瀨

人 40人 天気 晴 鳥 カイツブリ コサ
ギ オシドリ コガモ カルガモ オナガガ
モ ノスリ キジ イカルチドリ イソシギ
キジバト カワセミ コゲラ ヒバリ キセ
キレイ ハクセキレイ セグロセキレイ タ
ヒバリ ヒヨドリ ジョウビタキ ツグミ
シジュウカラ メジロ ホオジロ カシラダ
カ アオジ アトリ カワラヒワ イカル
シメ スズメ ムクドリ ハシボソガラス
ハシブトガラス(34種)好天に恵まれ、寒さ
も一休み。アトリに進路をふさがれて前に進
めない。全員でよく見たあと、やむなく前進。
対岸にオシドリが群れ、ノスリが凶鑑どおりに
羽を広げて飛んでくれた。(林 滋)

2月11日(月、休) 上尾市 丸山公園

人 35人 天気 晴 鳥 カイツブリ カワ
ウ コサギ コジュケイ キジ タゲリ タ
シギ キジバト コゲラ キセキレイ ハク
セキレイ セグロセキレイ ヒヨドリ モズ
ジョウビタキ アカハラ ツグミ ウグイス
シジュウカラ メジロ ホオジロ カシラダ
カ アオジ オオジュリン カワラヒワ シ
メ スズメ ムクドリ カケス オナガ ハ

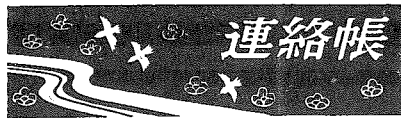
シボソガラス ハシブトガラス(32種)雨上
がりのさわやかな朝。雑木林、斜面林、アシ
原などで元気な鳥たちが見られた。この日は
姿を現わさながったが、この場所でも人気者
のカワセミが、1~2年前から見られるよう
になった。しかし喜んでばかりはいられない。
コースの途中に「土にうずもれ、刈り取られ
たアシ原」がある。拡大工事が始まったのだ。
クイナ、バン、そしてタマシギや多くの鳥た
ちの居所がなくなっていく。(乗田 実)

2月17日(日) 滑川町 森林公園

人 47人 天気 晴 鳥 コサギ オシドリ
マガモ カルガモ コガモ ヒドリガモ オ
ナガガモ ホシハジロ ノスリ コジュケイ
キジ キジバト コゲラ セグロセキレイ
ヒヨドリ モズ ルリビタキ ジョウビタキ
シロハラ ツグミ ウグイス キクイタダキ
エナガ シジュウカラ メジロ ホオジロ
カシラダカ アオジ シメ スズメ ムクド
リ カケス ハシボソガラス ハシブトガラ
ス(34種)森のあちらこちらで小鳥の群れに
出会い、キクイタダキ、エナガやメジロなど
がゆっくり観察できた。カモも数は少なか
ったが、全部で7種類が確認され、中でもヒド
リガモやオシドリを初めて見る人の中からは、
感動の声もあがった。(諏訪隆久)

2月17日(日) 浦和市 三室地区

人 40人 天気 晴 鳥 カワウ コサギ
カルガモ コガモ オナガガモ タカブシギ
イソシギ タシギ ハマシギ ユリカモメ
セグロカモメ キジバト コゲラ ヒバリ
ハクセキレイ タヒバリ ヒヨドリ モズ
ツグミ キクイタダキ シジュウカラ メジ
ロ ホオジロ アオジ カワラヒワ シメ
スズメ ムクドリ オナガ ハシボソガラス
ハシブトガラス(31種)風が強くてコースを
短縮したが、キクイタダキが何年ぶりかで出
現した。博物館の企画展としての「博物館周
辺の鳥たち」の写真展も好評のうちに終了し、
当支部の意気を発揮した。博物館の講座に出
た人が、早速探鳥会に参加して、新しい風を
探鳥会に吹込んでくれた。(楠見邦博)



4月の土曜日当番 (2時~6時)

- 6日 小淵健二 金井祐二
- 13日 山部直喜 海老原美夫 (編集会議)
- 20日 楠見邦博 菱沼洋子
- 27日 袋づめの会 (1時から)

ご寄付と支部賛助会員

伊藤昭吾 1,000円、海老原美夫 5,000円、川口由美子 2,000円、楠見邦博寄付 8,100円と賛助会費 8,000円、しらこぼと募金 (事務局内の募金箱、平成2年12月末日まで) 5,568円、林滋 (入会以来ためた小銭が17kgの重さになり、エンヤコラとかついできてくれました) 34,030円、依田浩二 3,000円、森本國夫

夫賛助会費 8,000円。ありがとうございました。(50音順、敬称略)

会員数は
3月1日現在 1,571人です。



この冬は変に暖かいので鳥の方は期待できないと思っていたら、職場の敷地で、久々にトラツグミ、キクイタダキ、ビンズイなどが見られ、このところ機嫌をよくしています。

ところで、支部報を校正するメンバーを募集しています。現在は私を含めて3人ですが、仕事の関係で一人になってしまうこともあって苦勞しています。1カ月に1日、夕方のみの仕事です。よろしく。(森本國夫)

(広告)

<p>バードウォッチング マガジン 日本の生物</p>	<p>文一総合出版</p>
<p>B5判・64頁・定価880円 毎月15日発売</p>	<p>〒162 東京都新宿区西五軒町13-10 ☎03-3235-7341 振替・東京2-42149</p>
<p>3月号 (2月15日発売) 特集: タカ。森に生き、空をかける。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■カンムリワシ in 西表島 吉見光治 ■オオタカ・ウォッチング 西片道之 ■都市郊外でツミを見るには 植田睦之 ■オオタカ・ハイタカ・ツミを比べる 植田睦之・遠藤孝一ほか ■日本産3種と北米産3種 東條一史 与那国島のシロガシラ 五百沢日丸 形態と識別② オオセツカ 茂田良光 BIRD NEWS - ツミの巣の周辺に営巣するオナガ・ツリスガラの越冬地東漸の動向 	<p>4月号 (3月15日発売) 特集: 身近な鳥を探る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■身近な鳥のこんな秘密 竹下信雄 ■都市公園のカワセミ 山根茂生 ■都市の庭で鳥を見る 百瀬淳子 ■都市に増えてきたムクドリ^①の集団ねぐら 越川重治 ■大阪のカラス事情 福居信幸 ジョウビタキの採餌行動と闘争行動 佐藤誠三 形態と識別③ ジョウビタキ 茂田良光 BIRD NEWS - 台風と鳥・シロアジサシの迷行・阪東大橋でナベコウに会うほか
<p>4月号は、埼玉県内では以下の書店に置いてあります。須原屋・佃文教堂(浦和市)、押田謙文堂(大宮市)、芳林堂書店(所沢市)、黒田書店(川越市)、岩淵書店(川口市)、時習堂(秩父市)。また、最寄りの書店でもご購入できますのでご注文下さい。毎月定期購読を希望される場合は、書店に「〇月号より定期で注文したい」とお申付け下さい。以後、毎月書店あてにお送り致します。3月号もぜひご注文下さい。</p>	

『しらこぼと』1991年4月号 (第83号) 定価 100円(会員の購読料は会費に含まれます)
 発行人 鈴木忠雄 編集発行 日本野鳥の会埼玉県支部 TEL・FAX 048(832)4062
 〒336 埼玉県浦和市岸町4丁目26番8号プリムローブビル1107号 郵便振替東京9-121130
 印刷 望月印刷株式会社 (本誌掲載の無断転載はかたくお断わりします)

連絡帳

所沢航空記念公園 リサイクルカーニバル

第1回“リサイクルカーニバル”－所沢1st Coming－に、日本野鳥の会埼玉県支部も協力して、写真パネル展示・バードウォッチンググッズ販売コーナー・相談コーナー・入会受付コーナーなどを開設します。

日にち 平成3年4月14日(日) 午前9時45分～午後4時
雨天の場合の予備日 4月21日(日)

会場 埼玉県立所沢航空記念公園
(西武新宿線「航空公園」駅前)

主催 よみうりリサイクルカーニバル実行委員会
後援 埼玉県 環境庁 読売新聞社 ほか

10万人の来場者を予定しているイベントです。

野鳥の会のテントをのぞいてみませんか。なかなか探鳥会に参加できない方、図鑑などの販売物を直接見てみるチャンスです。

当日は朝8時半ころから準備をはじめます。準備やPR活動・あとかたづけなどを手伝ってくださる方も大歓迎!!